第１講　原始（旧石器～弥生時代）の社会

（1）洪積世（更新世）の文化の特徴について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① この時代の末期には農耕が行われ，粗雑な土器もつくられた。

② 狩猟・漁労（ぎょろう）の道具として弓矢や網が使用された。

③ 初めて尖頭器（せんとうき）がつくられ，投げ槍（やり）などに使用された。

④ 人々は貝殻製の腕輪やガラス製の勾玉（まがたま）などで身体を飾った。

〔1994 年センター日本史・追試験＝第２問，問２〕

（2）原始の時代に関連して述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 旧石器時代には，石を打ち欠いただけの石器を用いたが，この時代の終わりには細石器とよばれる小型の石器も用いるようになった。

② 縄文時代になると，海進により水産資源の開発・利用がすすみ，釣針や魚網などの漁具が発達した。

③ 弥生文化は，合金を用いた金属器，稲の穂首を刈る石包丁などの大陸系の技術をともなう新しい文化である。

④ 弥生時代の後期になると，青銅製の農工具が普及し，それを用いて水田の開発が進んだ。

〔2000 年センター日本史Ｂ・本試験＝第１問，問１〕

（3）縄文時代に関連して述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① この時代の墓制は，低い墳丘と周囲に溝をもつ方形周溝墓であった。

② この時代は，地質学では洪積世（更新世）と呼ばれている。

③ この時代の風習や儀礼には，抜歯や屈葬などがあった。

④ この時代には，穀物は石包丁（いしぼうちょう）で収穫し高床倉庫にたくわえられた。

〔1996 年センター追試験＝第２問，問１〕

（4）縄文時代に関連して述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

① この時代は，西アジアや中国の場合と異なり，農耕・牧畜を生産の基本としないが，同じ新石器時代に属していた。

② この時代には，磨製石斧が使われはじめ，木材の伐採や加工が容易になった。

③ この時代の後半には西日本で，戦時の見張所・避難所として丘陵や山頂に集落がつくられた。

④ この時代の終わりごろの西日本を中心とする遺跡からは，水稲耕作がはじまったことを示す水田跡や炭化米が発見されている。

〔1994 年センター本試験＝第２問，問１〕

（5）縄文～弥生時代の土器について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 縄文土器は，薄手で赤褐色のものが多く，その名称は土器が発見された地名にちなんでつけられた。

② 縄文時代の晩期になると，従来の土器のほかに，弥生土器の源流となる土師器もつくられるようになった。

③ 弥生土器は，厚手で黒褐色のものが多く，その名称は土器の模様からつけられた。

④ 弥生時代には，貯蔵用の壺，食物を盛る高坏など，さまざまなかたちの土器がつくられた。

〔1999 年センター本試験＝第２問，問１〕

（6）縄文～弥生時代に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅳについて，正しいものの組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

Ⅰ　縄文時代になると，気候が温暖化し，海面が上昇したため，漁撈活動がさかんとなった。

Ⅱ　縄文時代になると，弓矢が出現し，動きのはやい動物の捕獲が容易となった。

Ⅲ　弥生時代になると，農業生産の発達にともない，貧富の差は次第に解消されていった。

Ⅳ　弥生時代になると，青銅器や鉄器が普及し，石器や木器は使われなくなった。

①　Ⅰ・Ⅱ　　②　Ⅰ・Ⅲ　　③　Ⅱ・Ⅳ

④　Ⅱ・Ⅲ　　⑤　Ⅱ・Ⅳ　　⑥　Ⅲ・Ⅳ

〔1999 年センター日本史Ｂ・本試験＝第１問，問２〕

（7）水稲耕作が伝来した当初の状況について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

①　鉄製農具が広く用いられた。

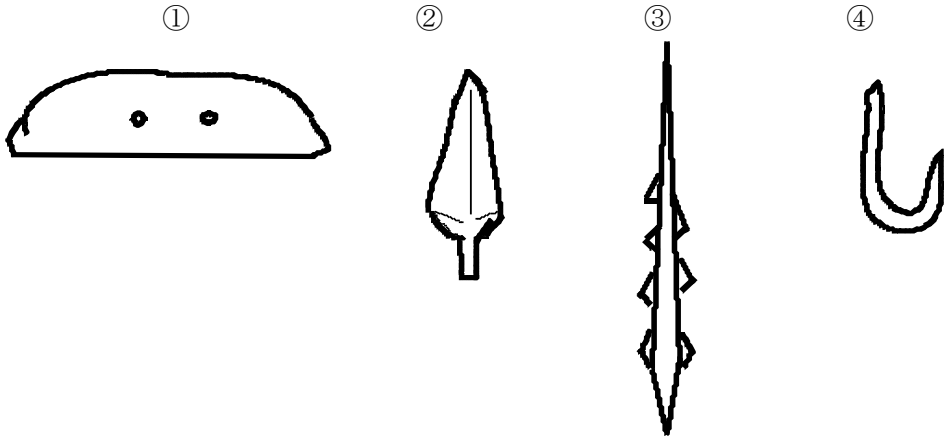
②　沖縄では水稲耕作が行われず，続縄文文化が展開した。

③　収穫した稲は，高床倉庫などで保管された。

④　新たに伝来した須恵器が使用されるようになった。

〔2002 年センター日本史Ａ・本試験＝第１問，問３〕

（8）水稲農業の用具として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（ただし，図の縮尺は一定ではない。）



〔1994 年センター本試験＝第２問，問２〕

（9）弥生時代の金属器に関連して述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 弥生時代前期には，中国から平形銅剣・広鋒銅鉾（ひろさきどうほこ）・広鋒銅戈（ひろさきどうか）が伝えられ，武器として使用された。

② 弥生時代後期には，鉄鎌（てつがま）や鉄の刃先をつけた鍬（くわ）・鋤（すき）が用いられるようになった。

③ 北九州の甕棺墓（かめかんぼ）には，青銅製の鏡や剣など多数の副葬品をともなっているものもある。

④ 銅鐸の中には脱穀などの様子が描かれたものもあり，それにより当時の生活を知ることができる。

〔1996 年センター追試験＝第２問，問３〕

(10) 弥生時代に関して述べた文として正しいものを，次のうちから一つ選べ。

① この時期の主要な武器としては銅剣・銅矛・銅鐸などが使われた。

② この時期には食生活が多様化し，各地に貝塚が出現した。

③ この時期には西日本を中心に稲作が広まったが，それが本州北端まで伝わったのは古墳時代である。

④ この時期には有力な支配者が出現したことを反映して，大型の墳丘墓や多量の副葬品を伴う墓が各地に作られた。

〔2001 年センター本試験・日本史Ｂ＝第２問，問１〕

(11) 弥生時代は激しい戦闘の時代であった。このことを裏付ける遺跡として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 佐賀県吉野ヶ里遺跡　② 群馬県岩宿遺跡

③ 青森県三内丸山遺跡　④ 静岡県登呂遺跡

〔2001 年センター本試験・日本史Ｂ＝第２問，問２〕

(12) 弥生時代には朝鮮半島南部の系統をひく新しい埋葬方法も用いられるようになったが，関連する語句として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 屈葬　② 支石墓　③ 竪穴式石室　④ 伸展葬

〔1997 年センター日本史Ｂ追試験＝第１問，問２〕

(13) 弥生時代に関連して，この時代の集落やそこでの生活に関して述べた次の文ａ～ｄについて，正しいものの組合せを，以下の①～④のうちから一つ選べ。

ａ 青銅製の刃先をもつ農具が，全国的に普及していた。

ｂ 日常の生活に不便な山頂や丘陵上にも，集落が造られた。

ｃ 鉄器･青銅器が海外からもたらされるとともに，日本列島内でも作られるようになった。

ｄ 乗馬の風習や硬質の土器が朝鮮半島から伝わった。

① ａ・ｃ　② ａ・ｄ　③ ｂ・ｃ　④ ｂ・ｄ

〔2005 年センター日本史Ｂ本試験＝第１問，問１〕

(14) 弥生時代の集落に関して述べた次の文ａ～ｄについて，正しいものの組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。

ａ　稲作によって集落の人々の生活が安定すると，狩猟や漁労・採集などの食料採集はほとんど行われなくなった。

ｂ　集落の祭りには銅鐸や銅剣・銅矛・銅戈などの青銅器祭器が用いられ，共通の祭器を用いる地域的なまとまりも生まれた。

ｃ　埋葬は集落から離れた共同墓地で行われ，その墓には，鉄製の農具や武具が大量に副葬された。

ｄ　集落の共同作業や祭りを指揮していた指揮者から，集落を越えた地域の政治的な支配者となる者が現れた。

①　ａ・ｃ　　②　ａ・ｄ　　③　ｂ・ｃ　　④ｂ・ｄ

〔2009 年センター日本史Ｂ・本試験＝第２問，問１〕

(15)「今から約［ア］万年前にはじまった縄文時代には，すでに人々が竪穴住居を建て，集団で暮らしていた。紀元前４～３世紀にはじまった弥生時代には，日本列島の各地に環濠集落がつくられるようになった。こうした環濠集落のなかには，望楼などを備え，さらには大規模な［イ］をともなうものも出てきた。」

問　空欄［ア］［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

①　ア　３　　イ　墳丘墓　　②　ア　３　　イ　群集墓

③　ア　１　　イ　墳丘墓　　④　ア　１　　イ　群集墓

〔2003 年センター日本史Ａ・追試験＝第１問，問１〕

第１講　原始（旧石器～弥生時代）の社会　解答

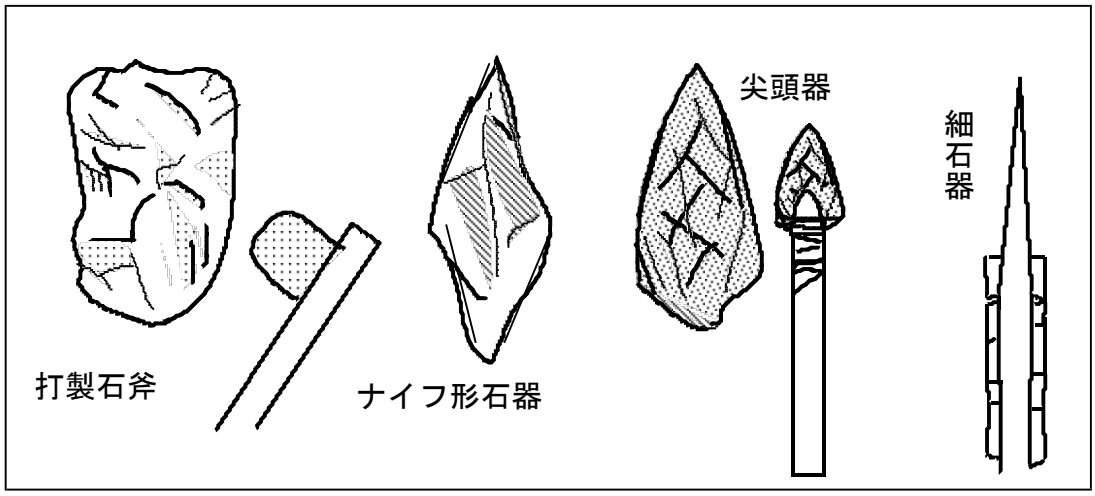
（1）③　（2）④　（3）③　（4）③　（5）④　（6）①
（7）③　（8）①　（9）①　(10) ④　(11) ①　(12) ②
(13) ③　(14) ④　(15) ③

第１講　原始（旧石器～弥生時代）の社会

旧石器～弥生時代の社会

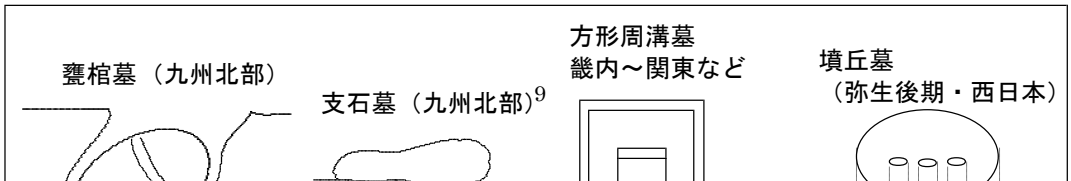
	旧石器時代(更新世)	新石器時代(完新世)＝縄文時代	弥生時代(稲作文化)
時代		１万2000年前～	紀元前300～紀元300年ころ
狩猟	ナウマン象・大角鹿	イノシシ・シカ	
自然	針葉樹林	落葉広葉樹林(東)・照葉樹林(西)	稲作のはじまり
道具	**打製石器** 握槌 ナイフ形石器 **尖頭器**（槍） **細石器**(槍・末期)	打製石器も使用 **磨製石器**－石皿・すり石・石匙 **弓矢**（石鏃(せきぞく)） **縄文土器** **骨角器**(釣針・銛)－漁労の発達	木製農具(鍬・鋤・田下駄など) **石包丁＝穂首刈** **鉄器**（鉄製の刃先をもつ農具－後期） **青銅器**(銅矛・銅戈・銅剣・銅鐸) 弥生土器（甕・壺・高坏）
住居	洞穴・テント式の小屋（移住生活）	**竪穴住居**（定住化，集落） **貝塚**を形成	竪穴住居 **環濠集落・高地性集落**
墓制 & 宗教		**屈葬**(共同墓地)※副葬品なし **※土偶**（女性．多産・豊作） **抜歯**（成人式） アニミズム（自然崇拝）	伸展葬(共同墓地)**※副葬品あり** **甕棺墓・支石墓**－北九州 **方形周溝墓**－畿内～関東 **墳丘墓**－西日本（弥生後期）
遺跡	**岩宿**(群馬，打製石器) **港川**（沖縄，新人の人骨）	**大森貝塚**（東京）※モース **三内丸山**（青森）※最大集落	**登呂**（静岡）・垂柳（青森） **吉野ヶ里**（佐賀）※環濠集落

打製石器

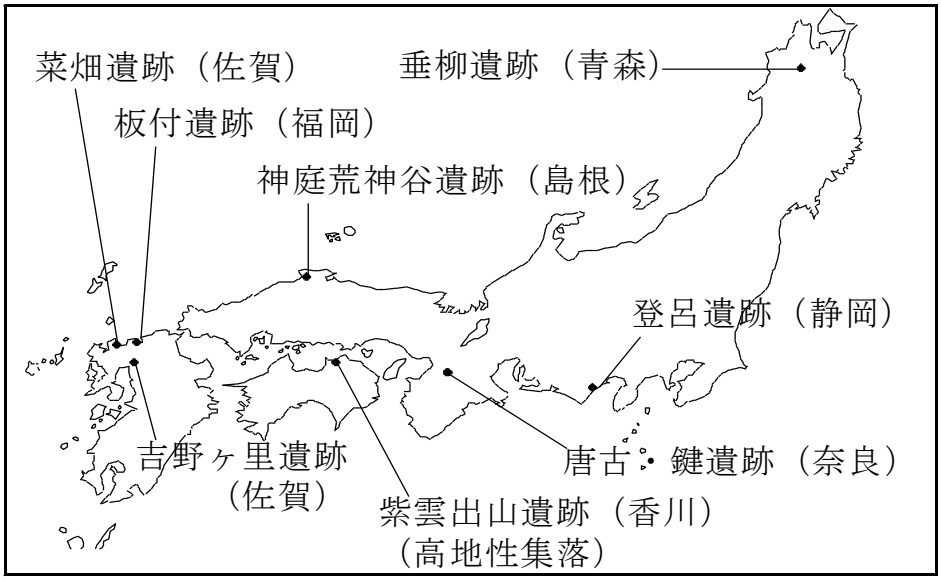


縄文時代の遺跡

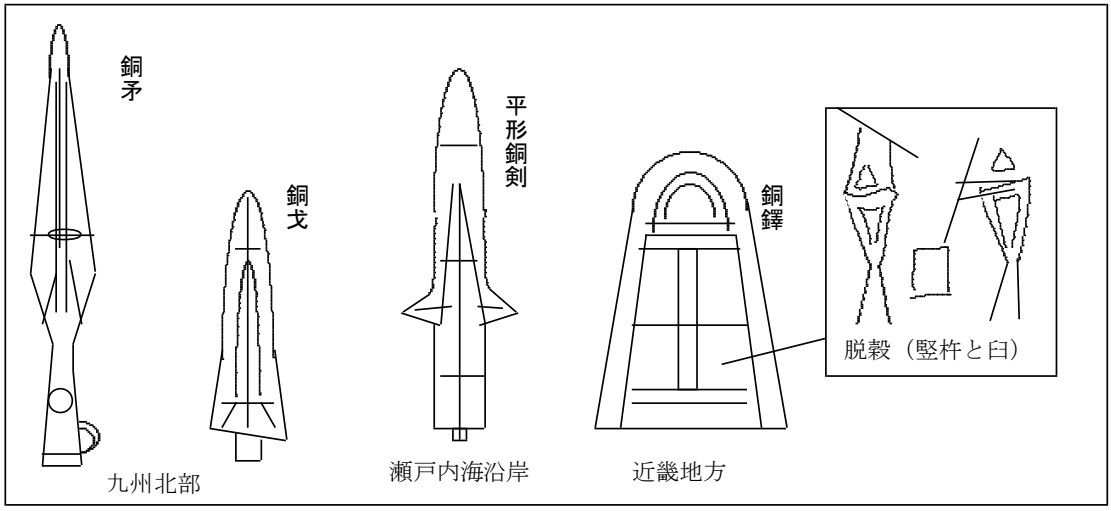
弥生時代の墓制



弥生時代の遺跡


菜畑遺跡（佐賀）
垂柳遺跡（青森）
板付遺跡（福岡）
神庭荒神谷遺跡（島根）
登呂遺跡（静岡）
吉野ヶ里遺跡
（佐賀）
唐古・鍵遺跡（奈良）
紫雲出山遺跡（香川）
（高地性集落）

青銅器


銅矛
銅戈
平形銅剣
銅鐸
脱穀（竪杵と臼）
九州北部
瀬戸内海沿岸
近畿地方